

8. 環境教育

1 宮城教育大学との連携協力に関する覚書に基づく活動

(1) 講義への協力

- ・令和3年5月24日, 6月30日 宮城教育大学 大学院 フィールドワーク論 講師派遣・園内講義実施
- ・令和3年6月5日 理科教育学演習における園内講義実施
- ・令和3年10月24日, 11月3日 生命環境科学 飼育実習受入

(2) 井土メダカ保全事業

東日本大震災により津波等の被害を受け危機に瀕した仙台市沿岸部のメダカの生息数を回復させ、以前の生息地での復活を目指す事業。若林区井土地区にて調査・保全目的で震災の前年に野生メダカを採集していた宮城教育大学と協力して実施している。希望する有志市民に当該地域のメダカを提供し、里親となってもらい飼育・増殖させてきた。

令和元年度の里親募集終了までにメダカの里親となった市民等は227組(うち学校6校、その他施設等4)。

活動10年目を迎えた令和3年度には、本メダカの採集地である六郷東部地区住民らの要望を反映する形で”東六郷コミュニティ広場”内に作られた「メダカ池」への放流を行った。ふるさとにメダカの一部が帰り、事業が一区切りを迎えたことをうけ、ビジターセンターの展示をリニューアルした。また、仙台市が主催する仙台防災未来フォーラムにて、パネルを出展し、これまでの当園・宮城教育大学・里親として協力していただいた有志市民の活動と成果を紹介した。

<令和3年度の実績>

6月 「メダカ里親通信No.17」を発行

7月3日 若林区まちづくり推進課と合同で、東六郷コミュニティセンターにて「メダカ里親合同交流会」を実施

- ・当園メダカ里親と六郷東部地区のメダカ里親、および地区住民によるコミュニティ広場内メダカ池への放流
- ・宮城教育大学棟方准教授による講話と、地区住民とメダカ里親らの意見交換を通じて、本事業の今後について理解を深めた。

12月 「メダカ里親通信No.18」を発行

3月5日 仙台防災未来フォーラムでのブース出展

- ・若林区まちづくり推進課と連携し、市民有志・宮城教育大学・当園が実施してきた井土メダカの保全活動と、震災後の仙台市若林区六郷東部地区における”復興まちづくり”をめぐる10年を、パネルで紹介した。



リニューアルした展示



メダカ里親合同交流会の中で実施されたメダカ池への放流

2 ゾウ糞エコサイクル事業

動物の糞から作った堆肥で野菜を栽培し、動物に給餌することにより、自然界での循環を自らの体験を通して学ぶ。

<令和3年度の実績>

7月9日 仙台大学附属明成高等学校の生徒に授業を実施。

10月19日 仙台市立七郷小学校の児童が来園。ゾウ糞堆肥を使って育てたカボチャをゾウにプレゼント。